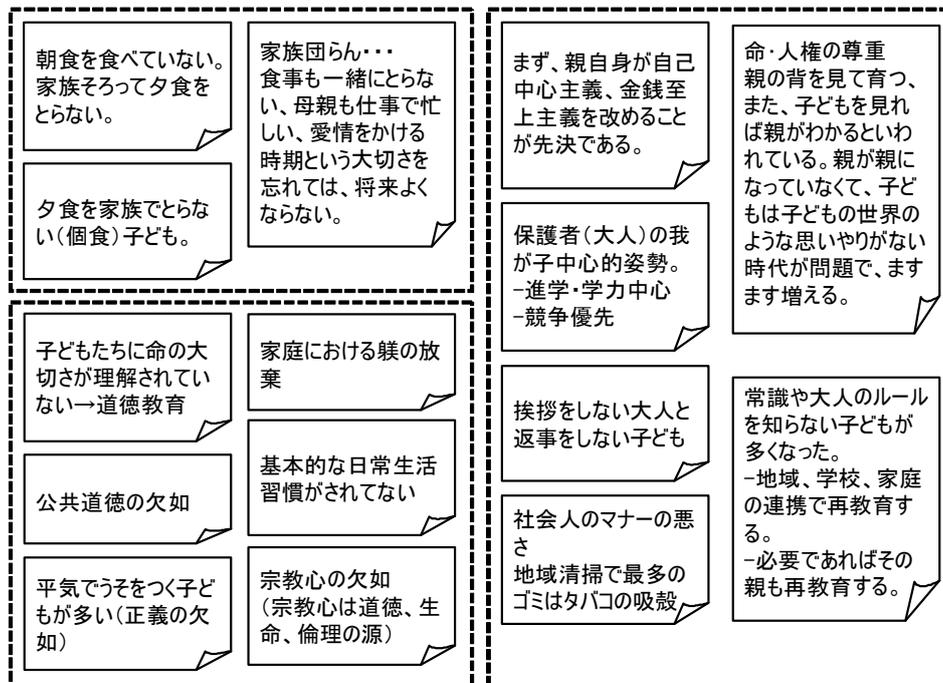


## 第4回 資料—「将来像を実現するための現状・問題認識、課題」についての検討成果

### ■家庭の教育環境

#### <現状・問題認識>

- ・ 現在の家庭の環境は、家族そろって会話を楽しみながら、朝食や夕食を一緒にとることが少なく、個食となっている子どもが多くいます。
- ・ 親自身が自己中心主義（我が子中心的姿勢）、学力優先思考、市場原理主義・金銭至上主義であったり、また、社会のルールやモラルを守れない大人、挨拶をしない大人、親が親になっていない未熟な親も多く、子どもにとって親（大人）が手本であることや、家庭教育の重要性を意識していない親（大人）が多いと思われます。
- ・ また、子どもたちは、正義や道徳心が欠如し、あるいは命の大切さを理解しないなど、家庭における人間性づくりや基本的な日常生活習慣の躰が放棄されていると考えられます。

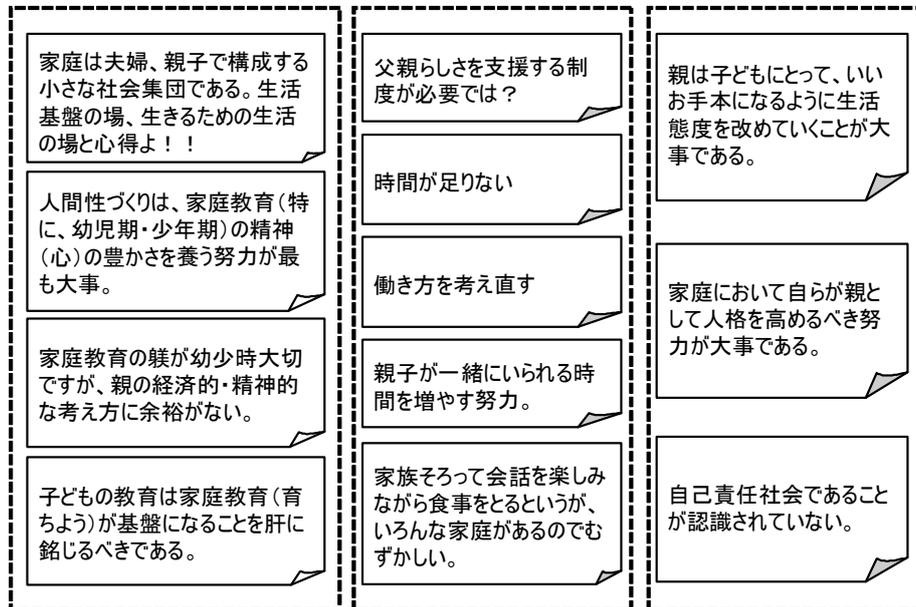


#### <課題>

- ・ 家庭は、夫婦や親子で構成する小さな社会集団であり、生活の場です。そこでの躰と人間性づくりなど精神(心)の豊かさを養うなど家庭教育の役割は大きいと考えられます。
- ・ 現実的には、家庭の事情等から難しい面もありますが、食事を家族一緒にとる、働き方を考え直すなど、時間が足りないなかでも、親子が一緒にいられる時間を増やす努力をすることが必要です。この時、父親が父親らしくするためには、特に支援が必要と考えられます。
- ・ また、大人は子どもの手本であることを認識し、大人自身が人格を高める努力をすること

とが必要です。

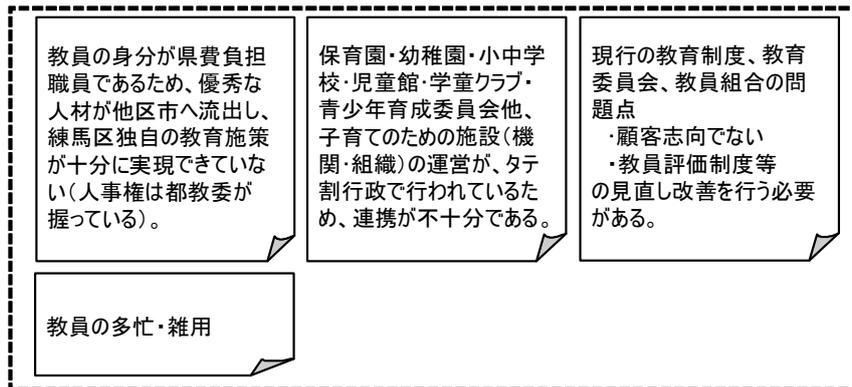
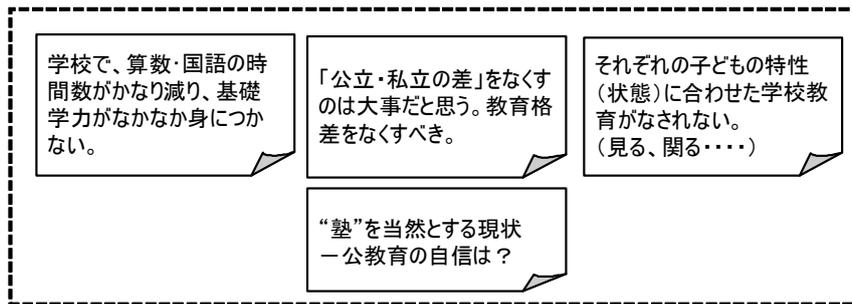
- 子どもにおこっている様々な問題は大人の責任であり、子どもの教育は大人からすることが必要です。



## ■子どもの学びと成長を支える学校・行政の仕組み

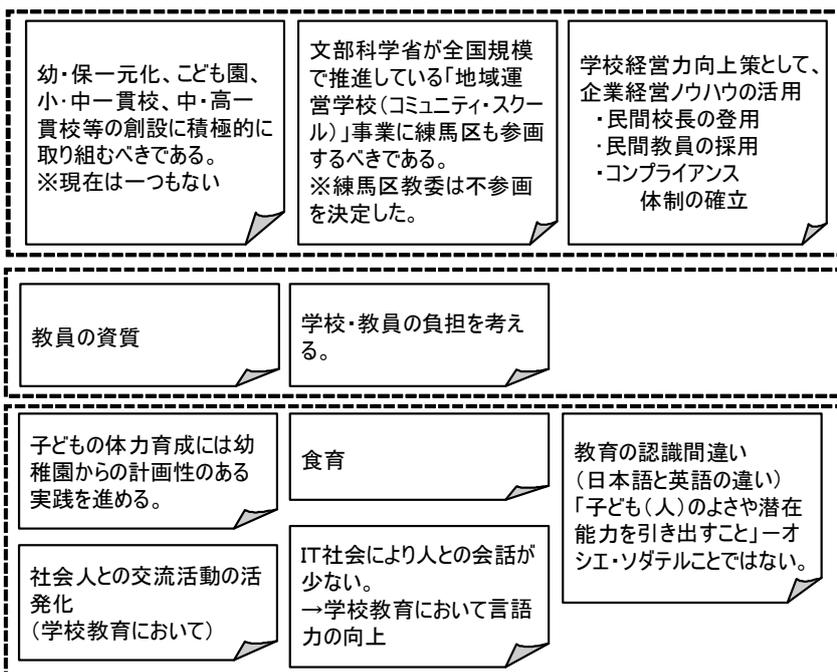
### <現状・問題認識>

- 現代の子どもは、体力や食の問題があります。
- また、学力については、授業時間の減少によって、基礎学力が身に付かないという問題を抱えています。
- 授業時間の減少等を遠因として、塾に行くことを当然と考える風潮もあり、公教育の意義が揺らいでいると考えられます。
- また、子どもの学力レベルや個性が異なる中で、子どもの特性に応じた学校教育が実施されにくい、という問題があると考えられます。
- 学校教育の体制についてみると、教員は、子どもの授業を持つ以外に雑用が多く、多忙という問題があります。また教員の人事権は、東京都にあるため、有能な人材が練馬区外へ流出してしまいます。その一方で、教育委員会や教員組合などは子ども(顧客)主体の教育の実践ができているのか、また教員の資質・能力向上のための評価制度が十分に機能しているのかという問題もあると考えられます。
- 子育てや子どもの教育に関わる保育園や幼稚園、小中学校、児童館・学童クラブ、青少年育成委員会等の連携が取れていないという問題があります。
- 近年の教育分野の取組として、幼保一元化や地域運営学校(コミュニティスクール)があります。しかし、練馬区はいずれにも取組の姿勢をとっていません。



<課題>

- ・ 子どもの体力育成のためには、幼稚園や学校などの計画的な取組や食育が重要です。また、子どもが基礎学力を身に付けていくために、教員の資質向上や優秀な人材の確保に努めていくことが必要です。
- ・ 学校運営については、社会情勢の変化や子どもの多様化の中で、積極的な学校経営を実現できる民間ノウハウをもつ人材の登用や、社会人の活用、家庭や地域・学校が協力してすすめる学校づくりへの取組や幼保一元化、さらに、IT社会にあってこそ必要なコミュニケーション能力の基礎となる言語力向上にも取り組むことが必要だと考えます。



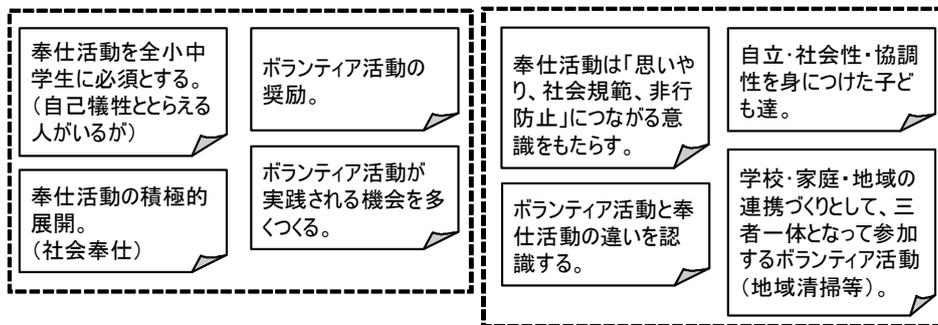
## ■奉仕活動とボランティアの心

### <現状・問題認識>

- ・なし

### <課題>

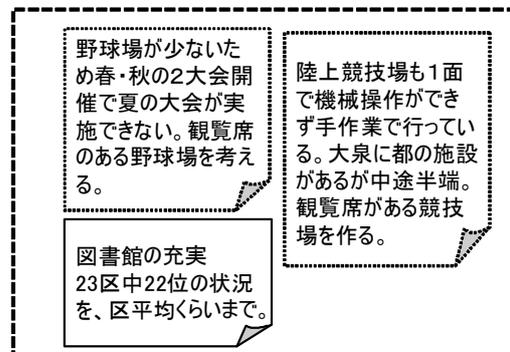
- ・ 小中学校での「奉仕活動」を必須の活動とするなど、奉仕活動・ボランティア活動を実践する機会を多く設けていくことが必要です。
- ・ 活動の実施にあたっては、学校・家庭・地域が一体となって参加する地域清掃活動等のボランティア活動の展開など、奉仕活動・ボランティア活動を奨励していきます。
- ・ これによって子ども達は自立し、社会性や協調性を身に付けることができ、また、他者に対する思いやりや社会規範を体得するとともに、非行防止にもつながっていくものと考えられます。



## ■区民の学びを支える施設のあり方

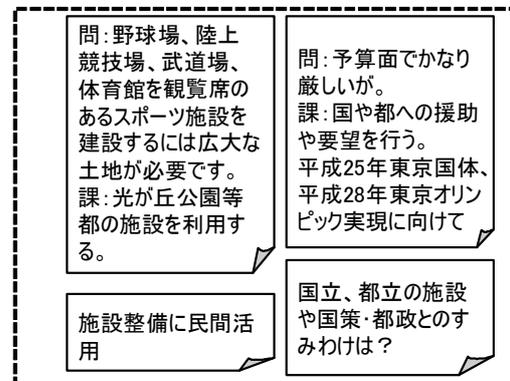
### <現状・問題認識>

- ・ 区内のスポーツ施設についてみると、競技等で利用する場合、設備が貧弱です。また、図書館については、特別区の中で 22 位の蔵書数となっています。



### <課題>

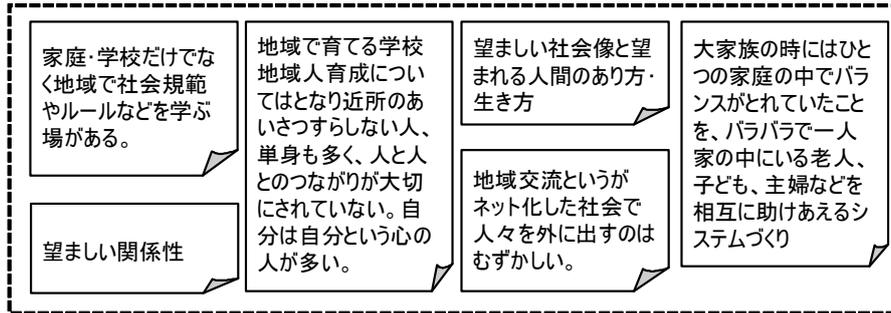
- ・ 生涯学習活動に参加するためには、区内のどこからでも参加しやすいように交通環境を整えることが必要です。また、区民の多様なスポーツニーズに対応し、競技にも利用可能な、観覧席のある施設整備が必要です。
- ・ 整備にあたっては、民間を活用すること、敷地の確保にあたっては、光が丘公園等都有地を利用するなど、平成 25 年の東京国体や平成 28 年の東京オリンピックの実現に向けて、都・国との協力も視野に入れて検討することが必要です。



## ■人のつながりと地域の教育力

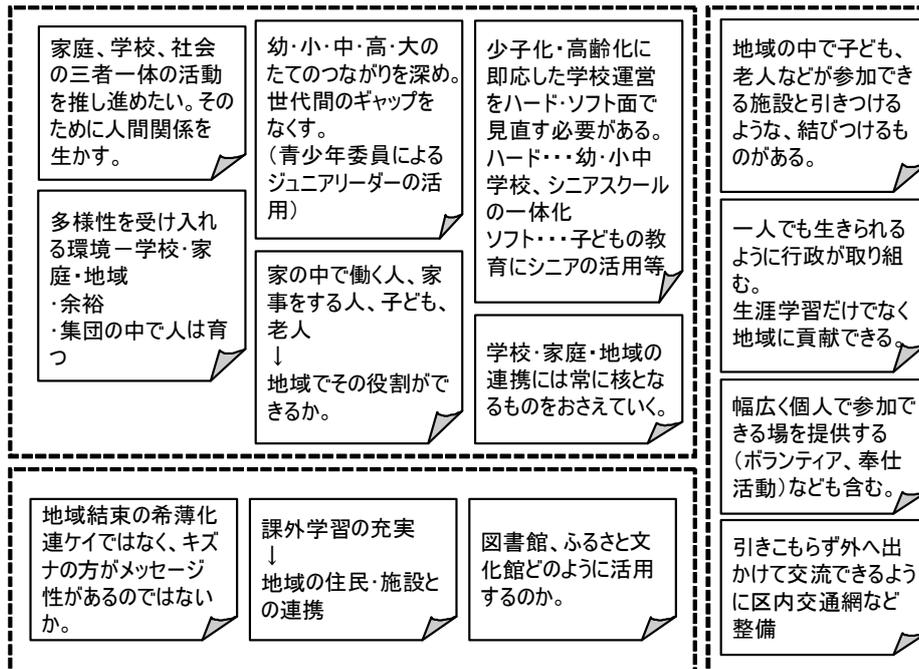
### <現状・問題認識>

- ・ 子どもにとって地域は、社会規範やルールを学ぶ場でもあります。
- ・ しかし、地域の人と人のつながりは希薄で、また、IT社会となった現在、外に出て交流を促すようにしていくことは難しいことだと考えられます。
- ・ しかし一方では、一人暮らしの高齢者や共働き家庭の子どもなど、かかわりを求めようとしても、出て行かれない区民も多くいると思われまます。



### <課題>

- ・ 地域の教育環境向上のために、家庭や学校、社会が一体となった活動を進めていきます。そこでは、地域の人間関係を活かすことが必要です。そのために、幼児や小中高校生、大学生、高齢者、主婦など様々な立場の人が地域の中で交流し、つながり（絆）を深めるような工夫が必要です。
- ・ 個人でも参加できる場の設定や交流を促す交通網の充実など、施設や交通基盤についても検討することが必要です。



## ■その他

- ・ 障がいへの理解
- ・ 少子化問題
- ・ 練馬区らしさのアピール

